

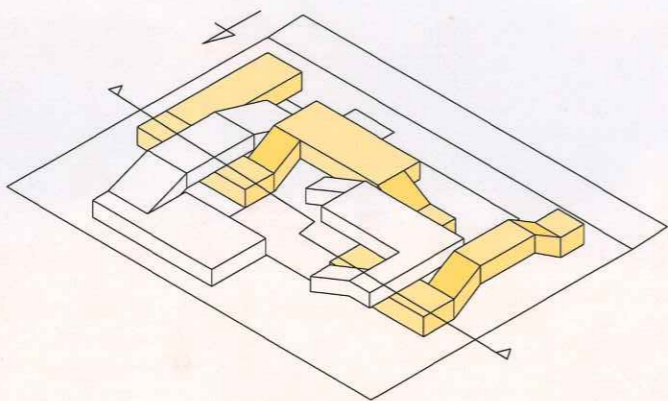
めぶきのまがりる

# 芽吹の曲がり路

SNSの発展、自然災害、終わらない紛争、、、様々に絡み合い複雑化する未来で子ども達を守るものは、個人の表現と他人の表現を理解しあえる環境であると考えた。

そこで表現の先輩である地域の大人を、「曲がり路」としてこども園にジグザグに組み込む。  
子ども達は地域の大人からつくり、伝える力を学び、そして今度は、こども自身がつくり、伝える。

芽吹の曲がり路は、表現力の肥料となって子ども達の好奇心を養う。



曲がり路構成アクリソメ

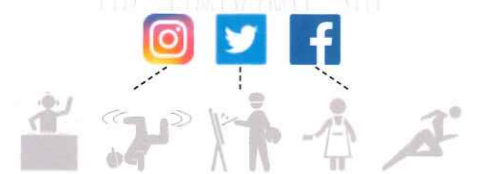


曲がり路(地域の大人)とこども園が様々な表現を通して繋がる/こども園中央から南方向をみる断面パース

## BACKGROUND

### 表現の日常化

趣味から日常の過ごし方まであらゆる事が投稿される



昨今、SNSの急速な発展によって仮想空間での個人の表現は日常となってきた。この事は現実の「場」以外でも評価される機会が増加していると言える。

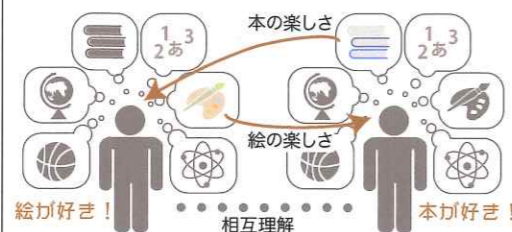
### 誰もが表現インフルエンサーになれる



SNSの発展でインスタグラマーなどの新たな職能が増えている。世界のどこにいても自分の表現が評価される可能性があり、個人の表現力は、今後より重要になると考えられる。

## CONCEPT

### 表現は世界を守る「砦」



個人の表現は、社会がどんな状況に置かれようとも変わらない強い「砦」である。表現を育てる事で個人は自分を守り、相手を尊重する事で世界を守る。

### こどもはみて、考えて、つくる達人



こどもは自己を観察し、他者を観察することによって、日々まじく成長する。観察の対象は多ければ多いほど良い。刺激の多いこども園は生涯学習の基礎をつくる。

## SYSTEM

### 地域の人はこどもの「お助けさん」

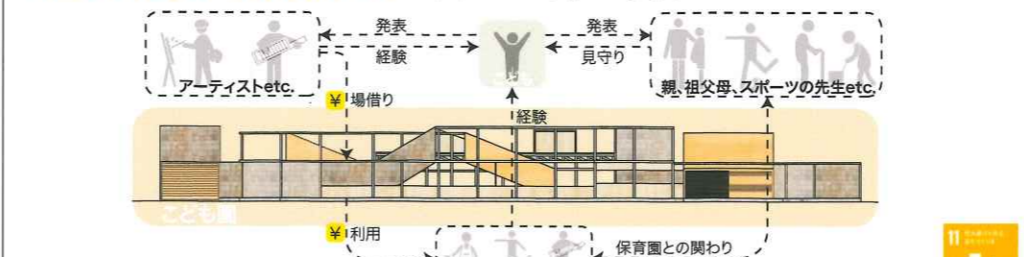
曲がり路で活動する地域の大人



たくさんのお手本!

こどもの表現対象として地域の曲がり路を組み込む。ミュージシャン・画家・ダンサー・大道芸人など、想像力を養う表現者を受け入れる。

## RELATION DIAGRAM 曲がり路の関わり



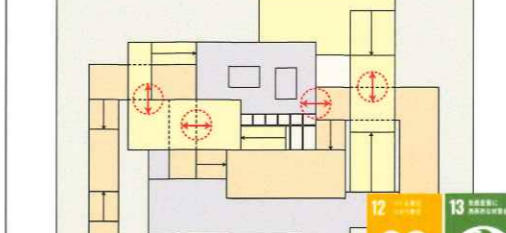
南側立面図 scale/1:500

地域の曲がり路には、親やおばあさん、リモートワーカー、場所のないダンサーやアーティスト、ミュージシャンをセキュリティを考慮しつつ中に入れる。まちの中に、表現の場が増える。活発に奏でられるこども園は、地域全体でつくる公共施設となる。

## STRUCTURE

### 曲がり路/隠れば・晒し場

構造:木造2F

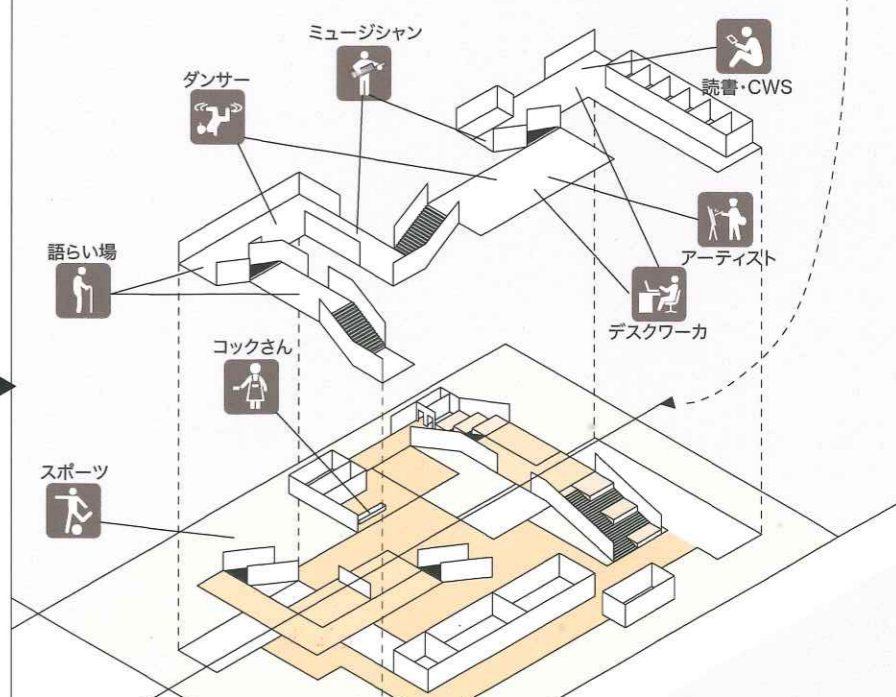


配置図 scale/1:1000

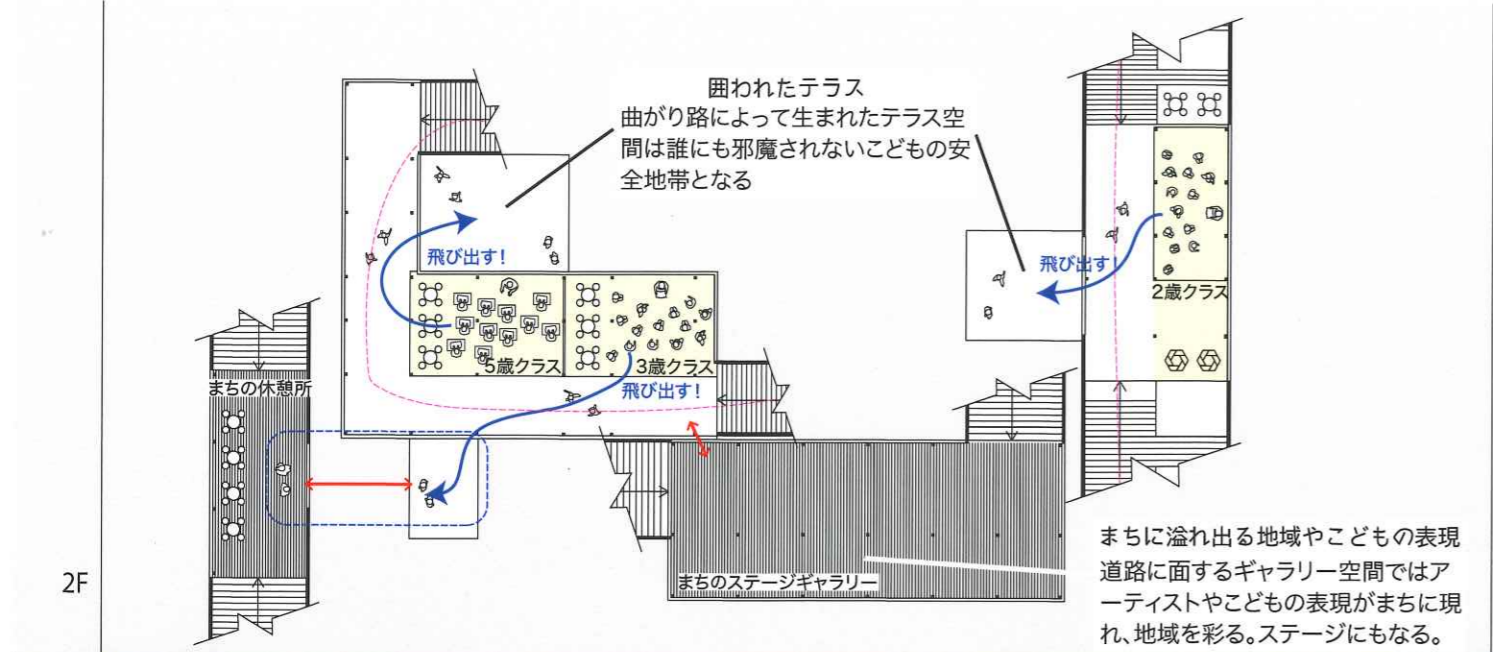
曲がり路とこども園を開けた部分と閉じた部分をつくるように計画する。大人と関わる距離はこどもが能動的に判断する。

## BUILDING DESIGN

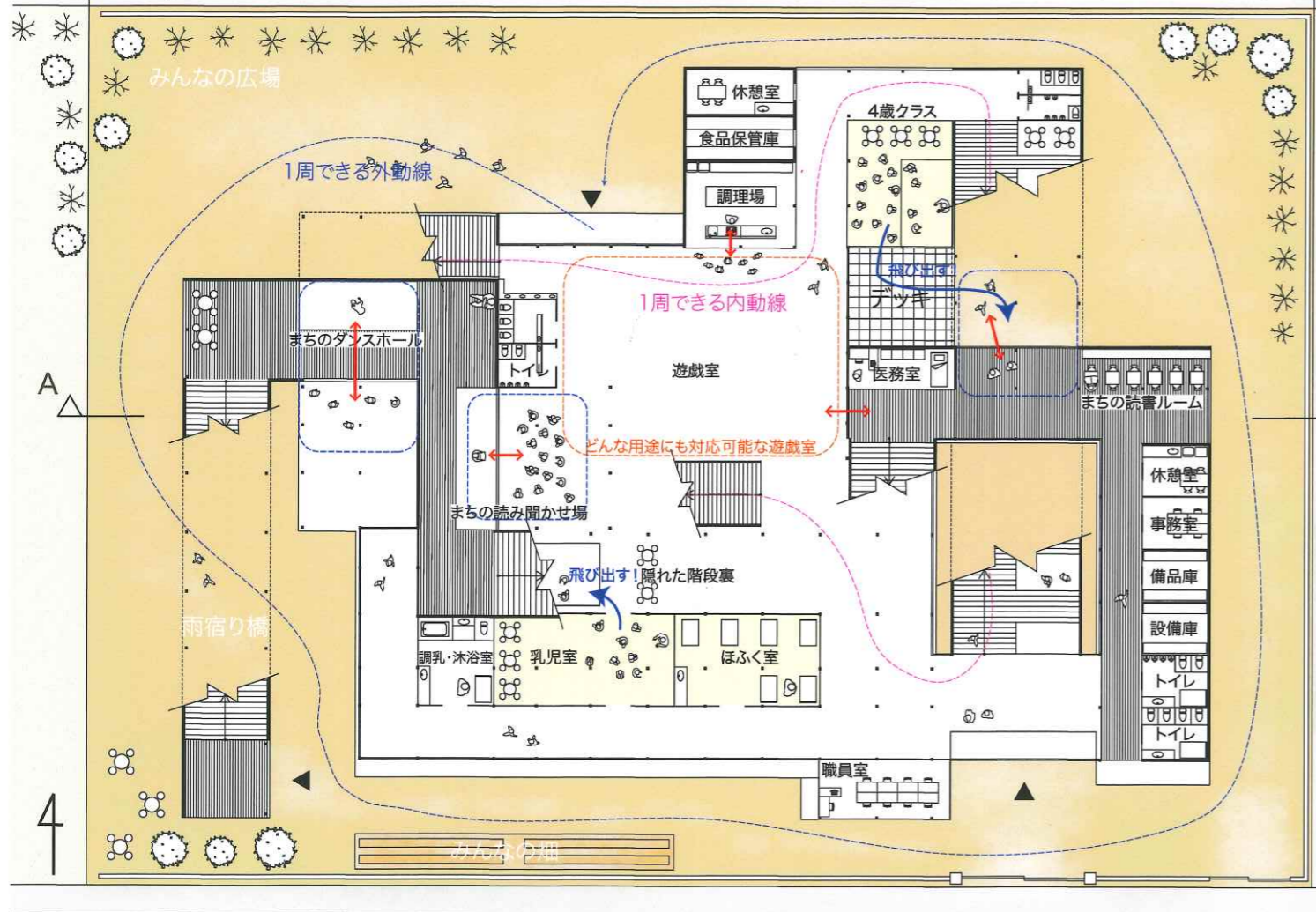
### 表現コアに据える「芽吹の曲がり路」



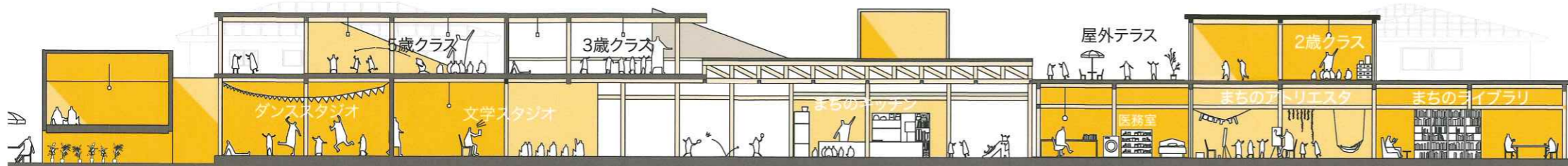
こども園の空間は曲がり路によって仕切られる。曲がり路の下はこどもの隠れ場になり、上はテラスとなる。こども達のセキュリティが守られる配置計画。



まちに溢れ出る地域やこどもの表現  
道路に面するギャラリー空間ではア  
ーティストやこどもの表現がまちに現  
れ、地域を彩る。ステージにもなる。



曲がり路(ハッチング部)は各所で子どもと関わり合いをもつ



A-A'断面 scale/1:150

### 発達過程に対応した曲がり路との関わり

こどもの成長速度は早い。そのため、年齢に合わせた表現の仕方を計画する。そこで各年齢の発達の様子をリサーチし、その特性に合わせたクラスの配置、曲がり路との関わり方を設定した。

#### 0-1歳 受け身の表現

活動範囲が極めて小さい0-1歳時はこども園での活動を受ける表現とした。胎児の時、お腹で音楽を聞くようにこども園での活動を全身に受ける。

地域:水やり  
子ども:種  
与えられる表現の種

動かないから周りから浴びる

#### 2歳 自己身体表現

体が動かせるようになる2歳児は、自分がどのように動かすか理解する時期だ。そこで2Fで体を動かす設えとした。階段の途中に小さな場を用意する。

地域:見守り  
子ども:発芽  
他者なし・自己との対話

動けるようになったから場が沢山

#### 3歳 関心表現

体の使い方を覚えた3歳児は次に自分の外の世界に興味を持ち始める。そこでこども園中央にクラスを配置し、曲がり路と最も多く関係を持てる構成とした。

地域:日光  
子ども:双葉  
観察によって多くを学ぶ

どの場所にもすぐ行けちゃう

#### 4歳 真似っこ表現

外に興味を持ったこどもは集団力を身につけ始める。そこで遊戯室・キッチン・曲がり路に隣接させ、集団力を養うための場とした。最も活発に動ける場。

地域:肥料  
子ども:つぼみ  
手を動かして表現を学ぶ

「みんな」で何かするための配置

#### 5歳 面倒見表現

こども園で最も年長になった5歳は自己を理解し、集団力を身につけ自己管理・他人への気遣いができるようになるため、3歳児と隣接させ、あらゆることが自分で決められる様にした。

地域:観察  
子ども:開花  
5歳 3歳  
手助けをしてあげる

年長さんはどこにでも行けちゃう



4歳クラスより遊戯室を見る、キッチン、土間、遊戯室で地域と交流が生まれる



曲がり路から3-5歳テラスをみる、こどもたちが大人に発表している



曲がり路入口より見る、こども達がダンスや音楽を大人と共演している



こども園南側正面よりみる、まちにこども達の表現が溢れ出し、地域と関わる

こどもの時期から大人の表現に触れる事  
こどもにとって初めて経験する世界がこども園である。そこで出会うのは先生とこども達であるが、非日常的な要素として地域の大人達の表現に触れる機会を作る。幼児期は無意識に多くを吸収するため、表現の基礎に触れておく事で生涯学習の基礎を作り上げる。こどもは創作の達人である。